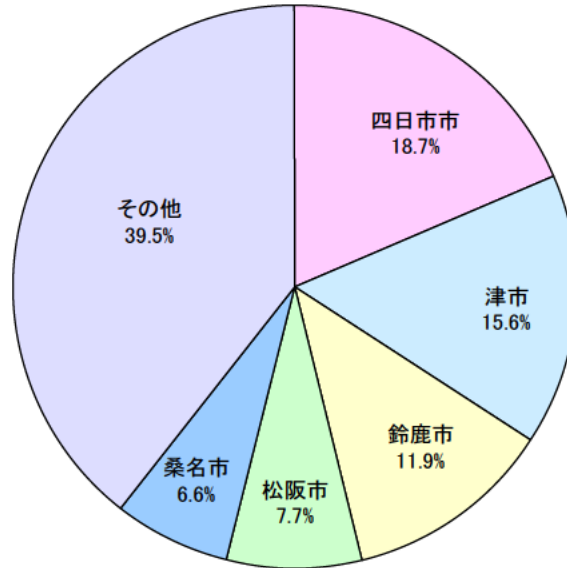


単位：百万円

市町名	平成18年度	順位
四日市市	1,499,898	1
津市	1,251,559	2
鈴鹿市	954,870	3
松阪市	617,124	4
桑名市	532,455	5
伊賀市	483,868	6
伊勢市	473,195	7
いなべ市	378,749	8
亀山市	339,598	9
名張市	248,397	10
多気町	178,222	11
志摩市	154,531	12
菰野町	116,809	13
鳥羽市	91,508	14
玉城町	87,233	15
川越町	72,360	16
東員町	71,624	17
尾鷲市	68,082	18
熊野市	60,854	19
紀北町	55,063	20
明和町	52,989	21
朝日町	42,883	22
南伊勢町	37,822	23
大台町	35,307	24
大紀町	30,520	25
紀宝町	29,395	26
木曾岬町	24,044	27
御浜町	23,281	28
度会町	15,239	29
三重県	8,027,479	
全国	5,118,770億円	

## ● 市町内総生産額の県内割合



平成18年度の市町内総生産額をみると、四日市市が1兆4,999億円と県内で最も多く、県全体の18.7%を占め、次いで津市の1兆2,516億円（同15.6%）、鈴鹿市の9,549億円（同11.9%）となっています。上位5市で、県全体の約6割を占めています。

## ● グラフデータ

単位：百万円、%

	H18年度	割合
四日市市	1,499,898	18.7
津市	1,251,559	15.6
鈴鹿市	954,870	11.9
松阪市	617,124	7.7
桑名市	532,455	6.6
その他	3,171,573	39.5

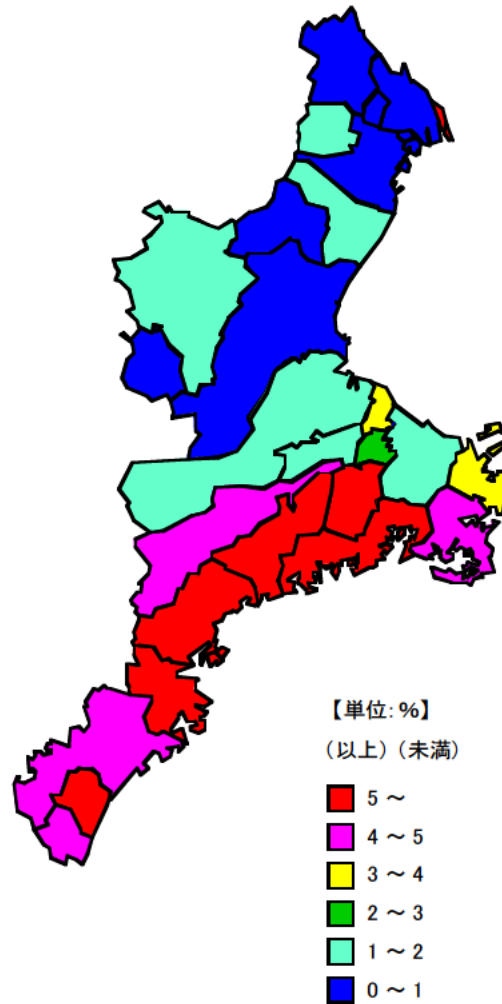
## 【資料出所】

三重県政策部統計室「三重県の市町民経済計算結果」

単位：%

## ● 第1次産業市町内総生産額比率

市町名	平成18年度	順位
南伊勢町	24.06	1
御浜町	14.20	2
紀北町	9.58	3
大紀町	8.47	4
度会町	7.42	5
木曾岬町	6.71	6
尾鷲市	5.61	7
熊野市	4.85	8
紀宝町	4.72	9
大台町	4.63	10
志摩市	4.57	11
鳥羽市	3.97	12
明和町	3.33	13
玉城町	2.14	14
伊賀市	1.68	15
松阪市	1.51	16
菰野町	1.24	17
多気町	1.20	18
伊勢市	1.08	19
鈴鹿市	1.01	20
津市	0.99	21
いなべ市	0.73	22
亀山市	0.72	23
桑名市	0.65	24
名張市	0.47	25
東員町	0.44	26
四日市市	0.35	27
朝日町	0.18	28
川越町	0.13	29
三重県	1.38	
全国	1.42	



平成18年度の第1次産業市町内総生産額比率をみると、南伊勢町が24.06%と県内で最も高く、次いで御浜町の14.20%、3番目に紀北町の9.58%となっています。

全般に県南部の市町で比率が高くなっているのに対し、県北部では木曾岬町を除き、全般に低くなっています。

## 【資料出所】

三重県政策部統計室「三重県市町民経済計算結果」

## 【算出方法】

第1次産業市町内総生産額÷市町内総生産額×100

## 【備考】

第1次産業＝農業＋林業＋水産業

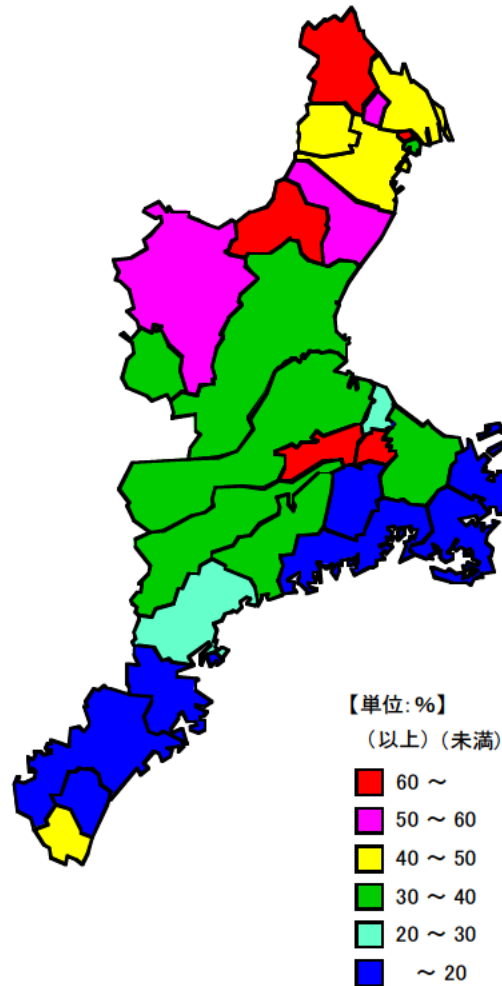
全国値は暦年値

第1次産業＋第2次産業＋第3次産業－帰属利子等＝100%

単位：%

## ● 第2次産業市町内総生産額比率

市町名	平成18年度	順位
多気町	86.19	1
いなべ市	78.30	2
玉城町	75.52	3
亀山市	69.86	4
朝日町	64.50	5
鈴鹿市	58.09	6
東員町	52.69	7
伊賀市	50.93	8
木曽岬町	45.17	9
紀宝町	42.45	10
菰野町	42.38	11
桑名市	42.32	12
四日市市	40.84	13
名張市	38.22	14
大紀町	35.34	15
川越町	33.66	16
松阪市	32.22	17
津市	32.18	18
伊勢市	31.20	19
大台町	30.30	20
明和町	27.69	21
紀北町	26.85	22
南伊勢町	18.42	23
度会町	18.09	24
尾鷲市	16.72	25
熊野市	16.16	26
御浜町	13.17	27
志摩市	12.23	28
鳥羽市	9.99	29
三重県	43.75	
全国	20.80	



平成18年度の第2次産業市町内総生産額比率をみると、多気町が86.19%と県内で最も高く、次いでいなべ市の78.30%、3番目に玉城町の75.52%となっています。

全般に県北部で比較的比率が高くなっているのに対し、県南部では低くなっています。

## 【資料出所】

三重県政策部統計室「三重県市町民経済計算結果」

## 【算出方法】

第2次産業市町内総生産額÷市町内総生産額×100

## 【備考】

第2次産業＝鉱業+製造業+建設業

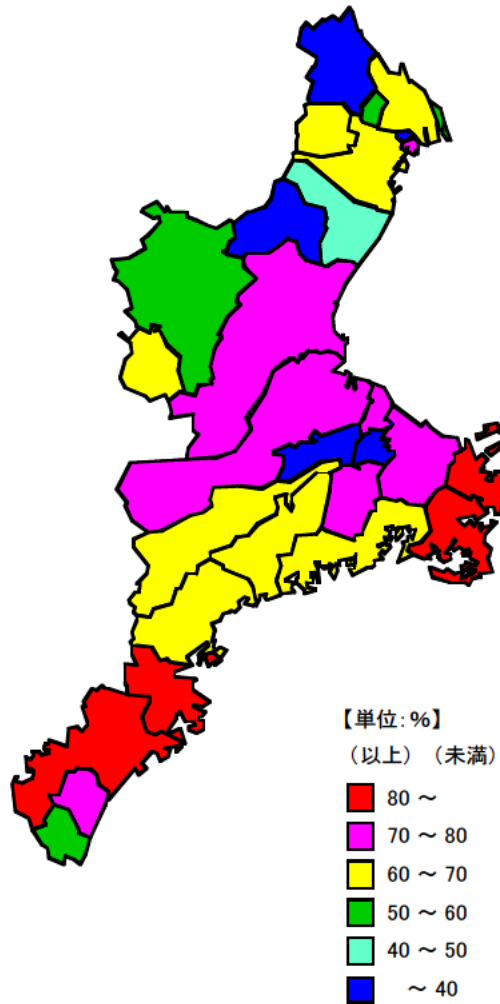
全国値は暦年値

第1次産業+第2次産業+第3次産業－帰属利子等＝100%

単位：%

## ● 第3次産業市町内総生産額比率

市町名	平成18年度	順位
鳥羽市	90.03	1
志摩市	87.19	2
熊野市	82.98	3
尾鷲市	81.67	4
度会町	78.49	5
御浜町	76.62	6
明和町	72.97	7
伊勢市	71.71	8
津市	70.82	9
松阪市	70.26	10
川越町	70.20	11
大台町	69.07	12
紀北町	67.57	13
名張市	65.30	14
四日市市	62.80	15
南伊勢町	61.51	16
桑名市	61.02	17
菰野町	60.37	18
大紀町	60.18	19
紀宝町	56.82	20
木曾岬町	52.11	21
伊賀市	51.38	22
東員町	50.86	23
鈴鹿市	44.89	24
朝日町	39.31	25
亀山市	33.41	26
玉城町	26.33	27
いなべ市	24.97	28
多気町	16.61	29
三重県	58.86	
全国	77.78	



平成18年度の第3次産業市町内総生産額比率をみると、鳥羽市が90.03%と県内で最も高く、次いで志摩市の87.19%、熊野市の82.98%となっています。

一方、多気町、いなべ市、玉城町など第2次産業市町内総生産額の比率の高い市町では、その比率は低くなっています。

## 【資料出所】

三重県政策部統計室「三重県市町民経済計算結果」

## 【算出方法】

第3次産業市町内総生産額÷市町内総生産額×100

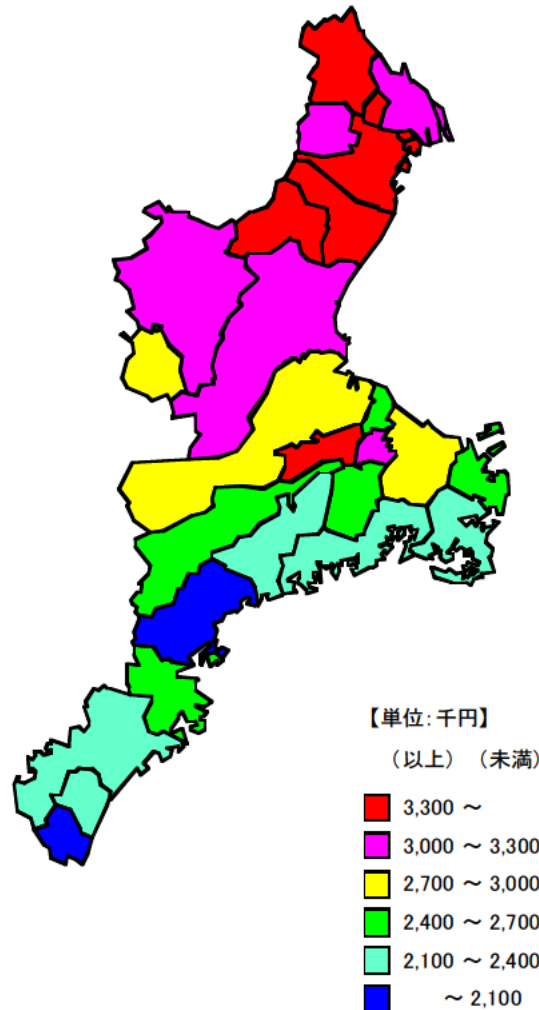
## 【備考】

第3次産業＝電気・ガス・水道業+卸売・小売業+金融・保険業+不動産業+運輸・通信業+サービス業+政府サービス生産者+対家計民間非営利サービス生産者。全国値は暦年値  
第1次産業+第2次産業+第3次産業－帰属利子等＝100%

単位：千円

## ● 市町別1人当たり分配所得

市町名	平成18年度	順位
いなべ市	4,081	1
亀山市	3,893	2
鈴鹿市	3,819	3
朝日町	3,817	4
多気町	3,665	5
四日市市	3,583	6
川越町	3,471	7
東員町	3,336	8
木曽岬町	3,269	9
玉城町	3,248	10
桑名市	3,208	11
菰野町	3,142	12
伊賀市	3,106	13
津市	3,076	14
名張市	2,997	15
松阪市	2,889	16
伊勢市	2,773	17
明和町	2,670	18
尾鷲市	2,620	19
度会町	2,578	20
鳥羽市	2,535	21
大台町	2,442	22
南伊勢町	2,353	23
大紀町	2,346	24
志摩市	2,320	25
御浜町	2,173	26
熊野市	2,110	27
紀宝町	2,017	28
紀北町	1,965	29
三重県	3,193	
全国	2,922	



平成18年度の市町別1人当たり分配所得をみると、いなべ市が408万1千円と最も多く、次いで亀山市の389万3千円、鈴鹿市の381万9千円となっています。

全般に第2次産業の総生産額の比率が高い市町ほど多くなっています。

## 【資料出所】

県政策部統計室「三重県市町民経済計算結果」

県政策部統計室「推計人口」

## 【算出方法】

市町民所得÷市町民総人口

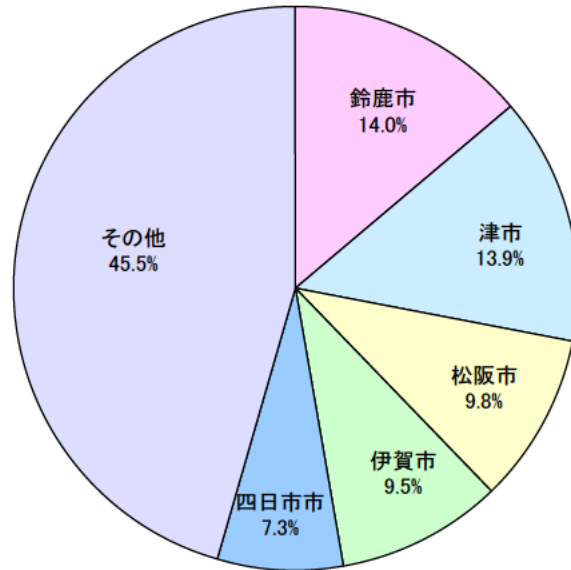
## 【備考】

分配所得とは、雇用人報酬に財産所得及び企業所得を加えたもので、必ずしも個人の所得・水準を表すものではない。

単位：千万円

市 町 名	平成18年	順位
鈴 鹿 市	1,601	1
津 市	1,590	2
松 阪 市	1,115	3
伊 賀 市	1,086	4
四 日 市 市	837	5
伊 勢 市	534	6
御 浜 町	511	7
い な べ 市	442	8
桑 名 市	398	9
亀 山 市	357	10
多 気 町	345	11
玉 城 町	333	12
明 和 町	255	13
木 曾 岬 町	248	14
菰 野 町	242	15
志 摩 市	224	16
南 伊 勢 町	197	17
熊 野 市	169	18
大 紀 町	165	19
名 張 市	153	20
紀 宝 町	127	21
度 会 町	114	22
大 台 町	110	23
紀 北 町	98	24
鳥 羽 市	79	25
東 員 町	51	26
尾 鷲 市	16	27
朝 日 町	14	28
川 越 町	12	29
三 重 県	11,423	
全 国	86,321億円	

## ● 市町別農業算出額の県内割合



平成18年の県内の市町別農業産出額をみると、鈴鹿市が160億1千万円と最も多く、県全体の14.0%を占めています。次いで津市の159億円（同13.9%）、松阪市の111億5千万円（同9.8%）となっています。上位5市で、県全体の54.5%をしめています。

## ● グラフデータ

単位：千万円・%

	H18年	割合
鈴鹿市	1,601	14.0
津市	1,590	13.9
松阪市	1,115	9.8
伊賀市	1,086	9.5
四日市市	837	7.3
その他	5,194	45.5

## 【資料出所】

東海農政局三重農政事務所「三重農林水産統計年報」

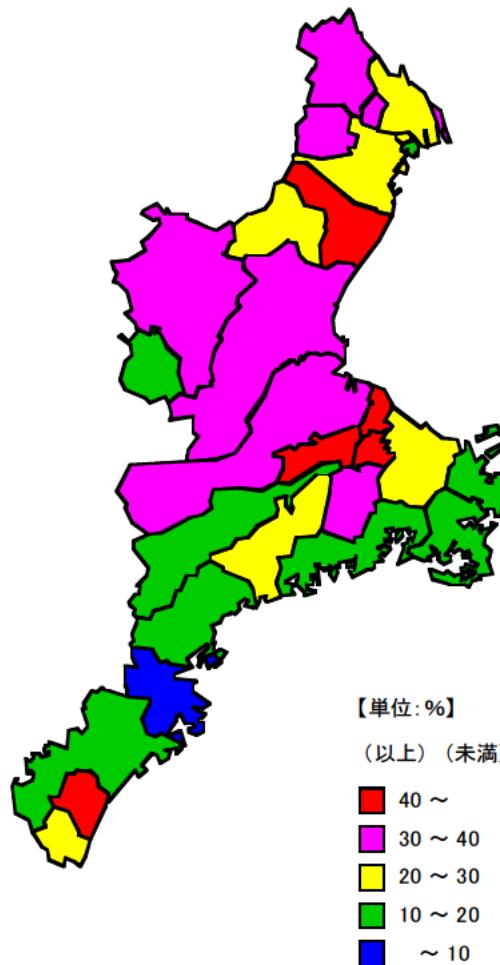
## 【算出方法】

農業産出額＝農産物別農家庭先価格×農産物別生産量

単位：%

## ● 市町別耕地面積割合（林野を除いた総面積に占める）

市 町 名	平成17年	順位
明 和 町	52.4	1
玉 城 町	50.6	2
御 浜 町	44.1	3
多 気 町	43.7	4
鈴 鹿 市	40.0	5
松 阪 市	39.4	6
菰 野 町	37.2	7
東 員 町	35.3	8
木 曾 岬 町	34.8	9
伊 賀 市	34.7	10
度 会 町	34.1	11
いなべ市	31.4	12
津 市	30.1	13
伊 勢 市	29.7	14
亀 山 市	29.6	15
大 紀 町	29.0	16
朝 日 町	28.0	17
桑 名 市	25.8	18
紀 宝 町	25.0	19
四 日 市 市	24.5	20
名 張 市	19.3	21
大 台 町	19.1	22
南 伊 勢 町	18.2	23
志 摩 市	15.8	24
川 越 町	15.4	25
熊 野 市	15.1	26
鳥 羽 市	13.3	27
紀 北 町	11.4	28
尾 鷲 市	4.8	29
三 重 県	30.6	
全 国	***	



平成17年の市町別の林野地を除いた総面積に占める耕地面積の割合をみると、明和町の52.4%が最も高く、次いで玉城町の50.6%となっています。

最も高い明和町と最も低い尾鷲市では、10倍を超える差があります。

## 【資料出所】

国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」  
 農林水産省「世界農林業センサス林業地域調査報告書」

## 【算出方法】

経営耕地面積÷(総面積－林野地面積)×100

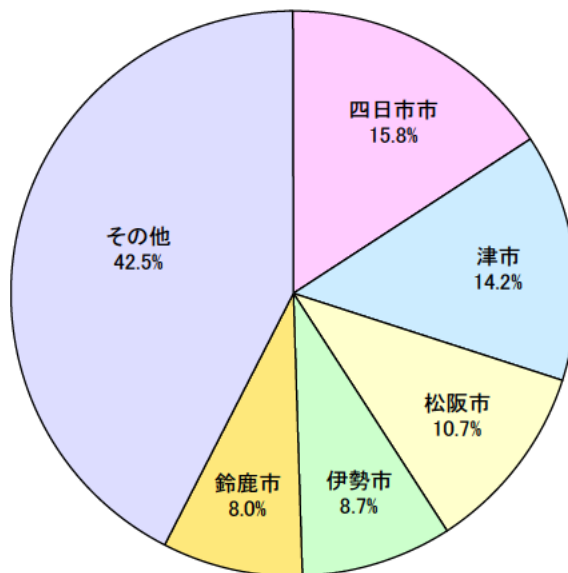
## 【備考】

経営耕地面積とは、農業経営体が経営する耕地(田、畑及び樹園地の計)の面積をいい、経営体が所有している耕地のうち、貸し付けている耕地と耕作放棄地を除いたものに借りている耕地を加えたものをいう。

単位：所

市 町 名	平成18年	順位
四日市市	13,607	1
津市	12,188	2
松阪市	9,224	3
伊勢市	7,493	4
鈴鹿市	6,903	5
桑名市	5,917	6
伊賀市	4,669	7
志摩市	3,477	8
名張市	3,257	9
亀山市	1,887	10
いなべ市	1,883	11
鳥羽市	1,710	12
尾鷲市	1,671	13
熊野市	1,546	14
菰野町	1,406	15
紀北町	1,375	16
南伊勢町	860	17
東員町	811	18
大台町	707	19
明和町	701	20
多気町	684	21
大紀町	665	22
川越町	592	23
紀宝町	590	24
御浜町	547	25
玉城町	497	26
度会町	425	27
朝日町	296	28
木曾岬町	277	29
三重県	85,865	
全 国	5,869,339	

## ● 市町別事業所数の県内割合



平成18年の県内の市町別事業所数をみると、四日市市が13,607事業所と最も多く、県全体の15.8%を占めています。次いで津市の12,188事業所（同14.2%）、松阪市の9,224事業所（同10.7%）となっています。上位5市で、県全体の57.5%を占めています。

## ● グラフデータ

単位：所、%

	H18年	割合
四日市市	13,607	15.8
津市	12,188	14.2
松阪市	9,224	10.7
伊勢市	7,493	8.7
鈴鹿市	6,903	8.0
その他	36,450	42.5

## 【資料出所】

総務省「平成18年事業所・企業統計調査報告」

## 【備考】

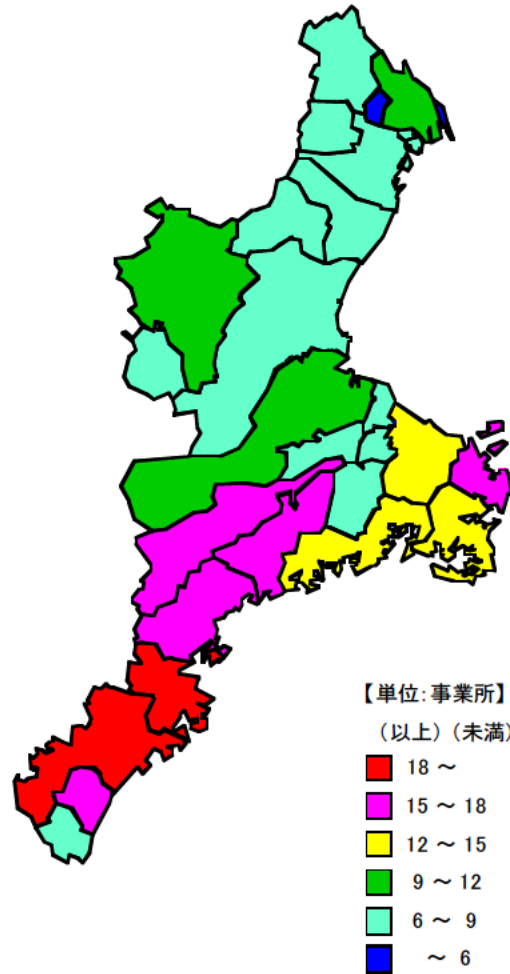
事業所数とは、国、地方公共団体及び独立行政法人の事業を除いた民営の事業所数をいう。



単位：事業所

## ● 市町別小売店数（人口千人当たり）

市 町 名	平成19年度	順位
熊 野 市	19.39	1
尾 鷲 市	18.25	2
紀 北 町	16.62	3
御 浜 町	16.40	4
鳥 羽 市	16.25	5
大 台 町	15.94	6
大 紀 町	15.70	7
南伊勢町	14.13	8
志 摩 市	13.18	9
伊 勢 市	12.95	10
松 阪 市	10.04	11
伊 賀 市	9.71	12
桑 名 市	9.19	13
多 気 町	8.81	14
四 日 市 市	8.29	15
紀 宝 町	8.18	16
名 張 市	8.06	17
亀 山 市	8.00	18
津 市	7.97	19
玉 城 町	7.89	20
いなべ市	7.57	21
川 越 町	7.47	22
朝 日 町	7.19	23
鈴 鹿 市	7.17	24
度 会 町	7.16	25
菰 野 町	7.07	26
明 和 町	6.73	27
東 員 町	5.43	28
木 曽 岬 町	2.92	29
三 重 県	9.34	
全 国	***	



平成19年度の小売店数（人口千人当たり）は、県平均で9.34事業所となっています。

県内市町の中で最大値は熊野市の19.39事業所で、次いで尾鷲市の18.25事業所となっています。最小値は木曽岬町の2.92事業所です。

## 【資料出所】

県政策部統計室「商業統計」  
県政策部統計室「推計人口」

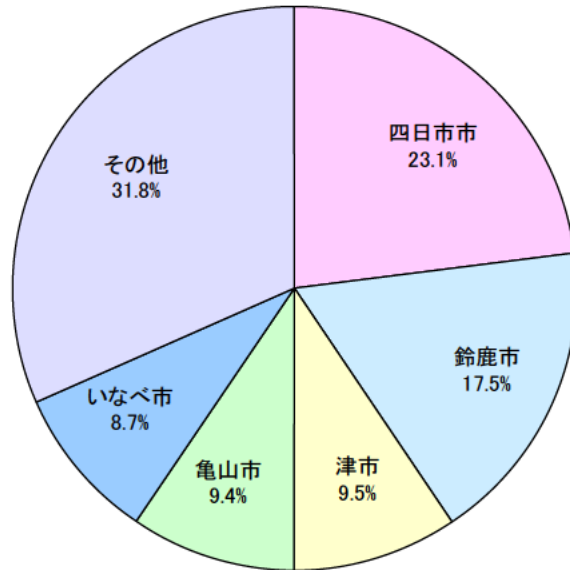
## 【算出方法】

小売店数（人口千人当たり）＝小売店数（総数）／総人口×1000

単位：百万円

市町名	平成19年	順位
四日市市	2,685,209	1
鈴鹿市	2,030,867	2
津市	1,099,851	3
亀山市	1,092,048	4
いなべ市	1,004,367	5
伊賀市	720,811	6
松阪市	567,069	7
多気町	502,335	8
桑名市	497,302	9
伊勢市	355,384	10
名張市	249,871	11
菰野町	143,093	12
玉城町	131,658	13
東員町	127,850	14
朝日町	100,284	15
川越町	64,442	16
木曽岬町	47,886	17
紀宝町	43,484	18
明和町	27,326	19
志摩市	24,651	20
大紀町	16,852	21
紀北町	16,066	22
尾鷲市	13,060	23
鳥羽市	10,917	24
熊野市	8,613	25
大台町	8,610	26
南伊勢町	4,598	27
度会町	4,035	28
御浜町	3,237	29
三重県	11,601,777	
全国	33,676百億円	

## ● 市町別製造品出荷額等の県内割合



平成19年の県内の市町別製造品出荷額等をみると、四日市市が2兆6852億円で最も多く、県全体の23.1%を占めています。次いで多いのが鈴鹿市の2兆309億円（同17.5%）、津市の1兆1000億円（同9.5%）となっています。  
上位5市で、県全体の3分の2強を占めています。

## ● グラフデータ

単位：百万円、%

	H19年	割合
四日市市	2,685,209	23.1
鈴鹿市	2,030,867	17.5
津市	1,099,851	9.5
亀山市	1,092,048	9.4
いなべ市	1,004,367	8.7
その他	3,689,435	31.8

## 【資料出所】

経済産業省「工業統計表（市区町村編）」  
県政策部統計室「三重の工業」

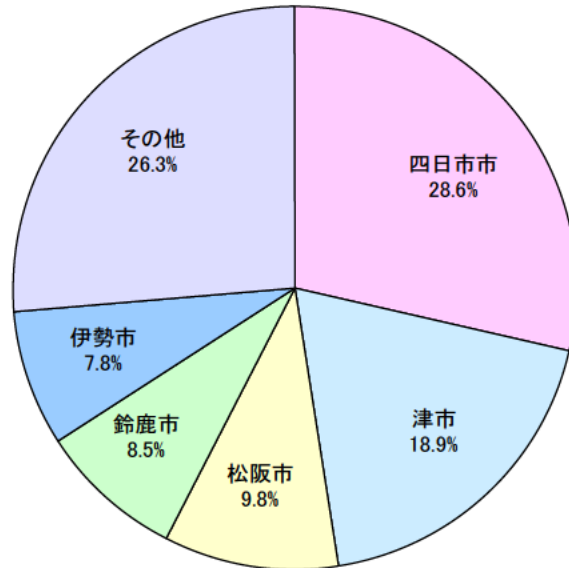
## 【備考】

製造品出荷額等とは、平成19年1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、修理量収入額、くず及び廃物出荷額及びその他の収入額を含めた総額をいい、消費税等の内国消費税額を含む。

単位：百万円

市 町 名	平成19年	順位
四日市市	1,128,844	1
津市	746,624	2
松阪市	387,110	3
鈴鹿市	334,582	4
伊勢市	307,634	5
桑名市	233,982	6
伊賀市	190,755	7
名張市	91,958	8
志摩市	67,815	9
亀山市	54,753	10
尾鷲市	39,800	11
菰野町	38,455	12
いなべ市	35,248	13
明和町	32,147	14
熊野市	31,449	15
鳥羽市	30,589	16
川越町	29,602	17
紀北町	23,258	18
東員町	22,975	19
玉城町	18,345	20
南伊勢町	16,929	21
多気町	15,912	22
大台町	14,522	23
御浜町	11,779	24
朝日町	7,725	25
大紀町	7,714	26
紀宝町	7,648	27
木曾岬町	6,119	28
度会町	6,115	29
三重県	3,940,384	
全 国	5,482,371億円	

## ● 市町別年間商品販売額の県内割合



平成19年の県内の市町別年間商品販売額をみると、四日市市が1兆1288億円で最も多く、県全体の28.6%を占めています。次いで多いのが津市の7,466億円（同18.9%）、松阪市の3,871億円（同9.8%）となっています。

上位5市で、県全体の73.7%を占めています。

## ● グラフデータ

単位：百万円、%

	H19年	割合
四日市市	1,128,844	28.6
津市	746,624	18.9
松阪市	387,110	9.8
鈴鹿市	334,582	8.5
伊勢市	307,634	7.8
その他	1,035,590	26.3

## 【資料出所】

県政策部統計室「三重の商業」

## 【備考】

年間商品販売額とは、平成18年4月1日から19年3月31日までの1年間のその事業所における有体商品の販売額をいい、消費税額を含む。